



## WALL-MOUNT CONTROLLER

# MCP1

**Ver. 5.0 or later/Vers. 5.0 oder höher/Version 5.0 ou ultérieure/  
Ver. 5.0 o posterior/Ver. 5.0 ou posterior/Ver. 5.0 o successiva/  
Вер. 5.0 или более поздняя версия/Ver. 5.0 以降**

To set up an MCP1 version 5.0 or later, use ProVisionaire Design.  
To set up an MCP1 version earlier than 5.0, you can use only MTX-MRX Editor.

Ein MCP1 ab Version 5.0 mit ProVisionaire Design einrichten.  
Ein MCP1 vor Version 5.0 kann nur mit MTX-MRX Editor eingerichtet werden.

Pour configurer un MCP1 doté de la version 5.0 ou d'une version ultérieure, utilisez le logiciel ProVisionaire Design.  
Pour configurer un MCP1 doté d'une version antérieure à 5.0, seul le logiciel MTX-MRX Editor peut être utilisé.

Para configurar un MCP1 versión 5.0 o posterior, utilice ProVisionaire Design.  
Para configurar un MCP1 de una versión anterior a la 5.0, solo se puede utilizar MTX-MRX Editor.

Para configurar um MCP1 versão 5.0 ou posterior, use o ProVisionaire Design.  
Para configurar uma versão MCP1 anterior à 5.0, você pode usar apenas o MTX-MRX Editor.

Per impostare MCP1 in versione 5.0 o successiva, usare ProVisionarie Design.  
Per impostare MCP1 in versione precedente alla 5.0, è possibile usare solo MTX-MRX Editor.

Для установки MCP1 версии 5.0 или более поздней версии используйте ProVisionaire Design.  
Для установки MCP1 более ранней версии, чем 5.0, вы можете использовать только MTX-MRX Editor.

Ver.5.0 以降の MCP1 は、ProVisionaire Design で設定してください。  
Ver.5.0 より前のバージョンは、MTX-MRX Editor でのみ設定できます。

**Installation Manual**  
**Installationshandbuch**  
**Manuel d'installation**  
**Manual de instalación**  
**Manual de instalação**  
**Manuale all'installazione**  
**Руководство по установке**  
**施工説明書**

**EN**  
**DE**  
**FR**  
**ES**  
**PT**  
**IT**  
**RU**  
**JA**

English

Deutsch

Français

Español

Português

Italiano

Русский

日本語

# 安全上のご注意

ご使用前に、必ずよくお読みください。

## 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 「警告」と「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



### 警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

## 記号表示について

この製品や施工説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

### 注意喚起を示す記号



### 禁止を示す記号



### 行為を指示する記号



- この製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

**警告**

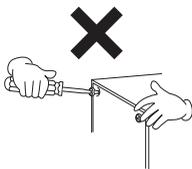
## 分解禁止



禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



## 水に注意



禁止

- この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐにPoEインジェクターまたはPoEネットワークスイッチの電源を切り、ケーブルを抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手でケーブルを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

## 火に注意



禁止

この機器の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。

## 異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐにPoEインジェクターまたはPoEネットワークスイッチの電源を切り、ケーブルを抜く。

- 製品から異常なおいや煙が出た場合
- 製品の内部に異物が入った場合
- 製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

**注意**

## 設置



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



必ず実行

取り付け工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼する。また、取り付ける場合は、以下の点に注意する。

- この機器の重量に十分に耐えられる取り付け器具と場所を選ぶ
- 継続して振動があるような場所は避ける
- 必ず指定された取り付け工具を使用する
- 定期的に保守点検を行う

## 取り扱い



禁止

この機器のパネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐにPoEインジェクターまたはPoEネットワークスイッチの電源を切り、ケーブルを抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

- この機器の上ののったり重いものをのせたりしない。
- ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

この機器が破損したり、けがをしたります原因になります。

## 注記(使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

### ■ 製品の取り扱い/お手入れに関する注意

- テレビやラジオ、AV機器、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色/変質する原因になります。
- お手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質の原因になりますので、使用しないでください。
- 機器の周囲温度が極端に変化して(機器の移動時や急激な冷暖房下など)、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。
- スイッチは素手で操作してください。手袋などを着用して操作すると、正しく動作しません。

## お知らせ

### ■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。施工説明書に従って正しい取り扱いをしてください。(VCCI-B)
- 電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。

### ■ 廃棄について

- この製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください。

### ■ 施工説明書の記載内容に関するお知らせ

- この施工説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

# 目次

安全上のご注意.....	129
はじめに .....	133
各部名称と機能.....	134
フロントパネル.....	134
リアパネル .....	135
機器の接続 .....	136
機能ツリー .....	137
取り付け方 .....	138
UNIT IDの設定.....	140
取り外し方 .....	141
MCP1 の初期化.....	141
アラート一覧.....	142
仕様 .....	144
寸法図 .....	145
アフターサービス.....	147
保証書 .....	148

## 付属品

- マウントプレート
- サーフェイスマウントボックス
- サイドパネル×2
- 本体 - マウントプレート用ネジ×4(ワッシャー付き)
- マウントプレート - サーフェイスマウントボックス用ネジ×4(ワッシャーなし)
- MCP1 施工説明書(本書) ※本書に保証書が掲載されています。

## ファームウェアのアップデート

MCP1 のファームウェアのアップデートやバージョンの確認は、ProVisionaire Designで行います。操作方法については、「ProVisionaire Designユーザーガイド」をご参照ください。

最新のファームウェアは、以下のウェブサイトのダウンロードページからダウンロードしてください。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>

## はじめに

このたびは、ヤマハウォールマウントコントローラー MCP1 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、ヤマハの機器の制御の他、対応するリモートプロトコルを公開している他社製品の制御も可能なウォールマウントコントローラーです。この施工説明書では、施工や設備設計をする方が設置や設定を行うために必要な説明をしています。本製品のさまざまな機能を十分にご活用いただくために、施工前にこの施工説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

MCP1 はホームページと6つのページを設定でき、最大36のパラメーターを割り振ることができます。

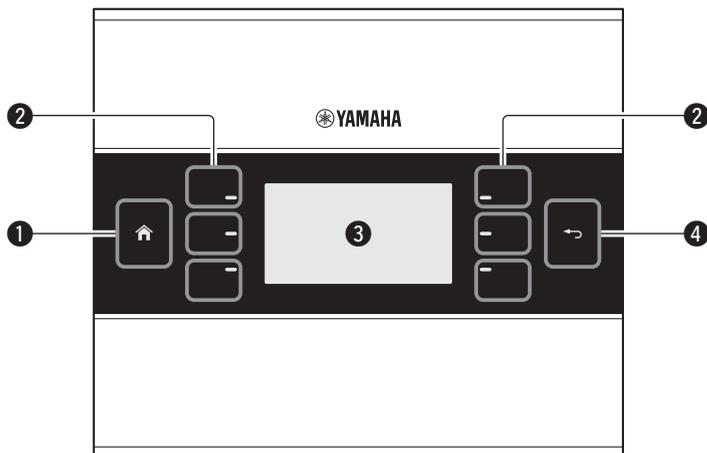
## 用意しておくもの

MCP1 を壁に取り付けるにあたって、あらかじめお客様に用意していただくものがあります。

- **IEEE802.3afに準拠したPoEインジェクターまたはPoEネットワークスイッチ**  
MCP1 に電源を供給するために使用します。  
PoEインジェクターやPoEネットワークスイッチを総称して「PSE (Power Sourcing Equipment)」と呼びます。
- **Ethernetケーブル (CAT5e以上)**  
PSEと接続するために使用します。
- **(壁に埋め込む場合)**  
**2コ用スイッチボックス (セパレーターなし、深さ20mm以上)**  
また、スイッチボックスを壁に取り付けるためのネジを用意してください。
- **(サーフェスマウントボックスを使用する場合)**  
**サーフェスマウントボックスを壁に取り付けるためのネジ×4**  
壁の厚さなどに合わせた長さのM4.0皿ネジを用意してください。
- **プラスドライバー / 電動ドライバー**  
取り付けに使用します。

# 各部名称と機能

## フロントパネル



### ① ホームスイッチ

タッチするとホームページに戻ります。

ホームページやページを表示しているときにロングタッチ(2秒以上)するとユーティリティページに遷移します。またディスプレイがロックやスリープのときにロングタッチするとロックやスリープを解除します。

### ② L1/2/3、R1/2/3スイッチ

ホームページからページへの遷移やパラメーターの操作に使うスイッチです。ページやパラメーターはProVisionaire Designで設定します。

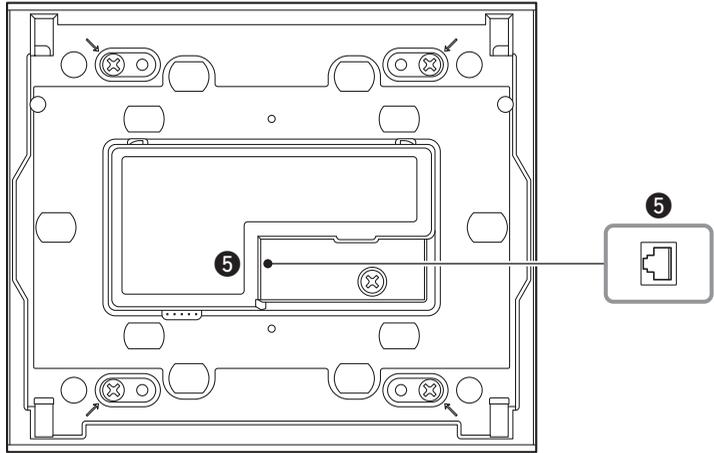
### ③ ディスプレイ

パラメーターなどを表示します。表示するデータはProVisionaire Designで作成します。

### ④ リターンスイッチ

パラメーターを設定したあとタッチすると確定してページに戻ったり確認画面に遷移したりします。

## リアパネル



### ⑤ NETWORK端子

PSEと接続するためのRJ-45端子です。  
使用できるケーブルは最大100mです。

#### NOTE

電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。

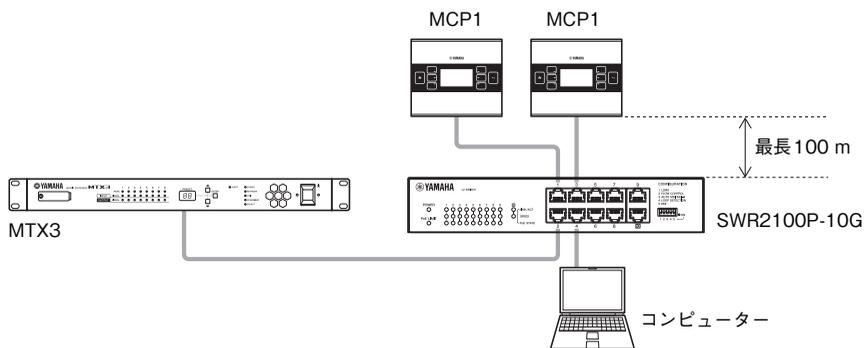
# 機器の接続

MCP1とMCP1でコントロールする機器をPoEネットワークスイッチにEthernetケーブルで接続してください。

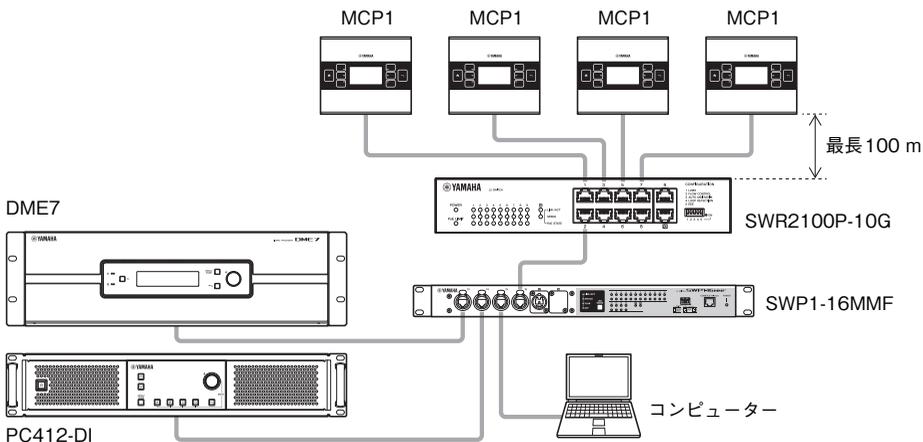
ネットワークスイッチがPoE非対応の場合は、ネットワークスイッチとMCP1の間にPoEインジェクターを接続してください。

PSE (PoEネットワークスイッチやPoEインジェクター)には電源を供給するポートと供給しないポートがある場合があります。MCP1は電源を供給するポートに接続してください。各機器を同期させる手順は、ProVisionaire Designユーザーガイドをご参照ください。

## 小規模接続の場合

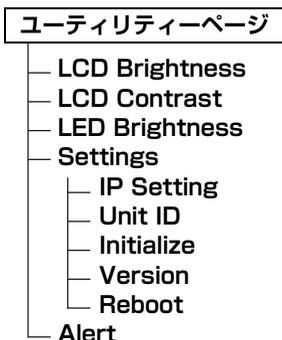


## 大規模接続の場合



# 機能ツリー

ホームページやページでホームスイッチをロングタッチ(2秒以上)するとユーティリティページに遷移します。ユーティリティページでの機能ツリーは以下となります。



- **LCD Brightness**

ディスプレイのバックライトの明るさを調整します。数字が大きいほど明るくなります。

- **LCD Contrast**

ディスプレイのコントラストを調整します。数字が大きいほど明暗の差が大きくなります。

- **LED Brightness**

スイッチの明るさを調整します。数字が大きいほど明るくなります。

- **Settings**

セッティングページに遷移します。

ProVisionaire Designと同期したあとは、PINコードの入力が必要となります。

PINコードは、ProVisionaire Designで設定してください。

- **IP Setting**

MCP1のIPアドレス設定方法をPCかUNIT IDで選択します。

PCの場合、ProVisionaire DesignでIPアドレスを設定します。UNIT IDの場合、

192.168.0.UNIT IDがIPアドレスになります。PCかUNIT IDを選択したあとリターンスイッチをタッチすると確認画面に遷移して、自動的に再起動します。

- **Unit ID**

MCP1のUNIT IDを設定します。設定範囲は01からFEです。

IP SettingがUNIT IDの場合、他の機器のIPアドレスと重ならないように設定してください。UNIT IDを設定したあとリターンスイッチをタッチすると確認画面に遷移して、自動的に再起動します。

- **Initialize**

MCP1を初期化します。

- **Version**

MCP1のファームウェアのバージョンを表示します。

- **Reboot**

MCP1を再起動します。

- **Alert**

現在発生しているアラートを表示します。

# 取り付け方

MCP1を壁に取り付ける方法には、壁の裏にスイッチボックスを設置して埋め込む方法と、壁に付属のサーフェイスマウントボックスを設置して露出させる方法があります。



## 注意

MCP1は床面から高さ2m以下に設置してください。MCP1が落下した場合、この機器が破損したり、けがをしたりする原因になります。

### 壁の裏にスイッチボックスを設置して埋め込む場合

壁の裏にスイッチボックスを横向きに設置し、PSEにつながっているケーブルをスイッチボックスの中に入れてください。

### 壁に付属のサーフェイスマウントボックスを設置して露出させる場合

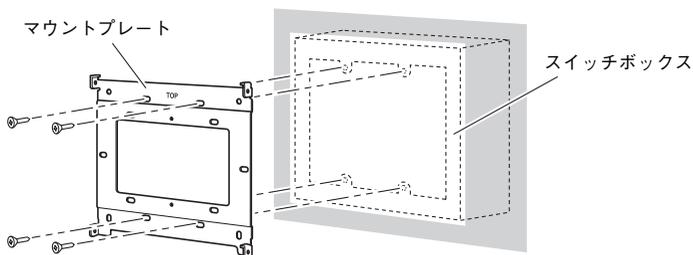
サーフェイスマウントボックスにはケーブルを通すための穴を開けるための切り欠きが1つあります。切り欠きのノックをペンチなどの工具を使って外し、ケーブルをサーフェイスマウントボックスの中に入れてからご用意いただいたM4.0皿ネジで固定してください。

## 1. スwitchボックスまたはサーフェイスマウントボックスにマウントプレートを取り付ける。

TOPと刻印された側が手前かつ上になるようにしてください。

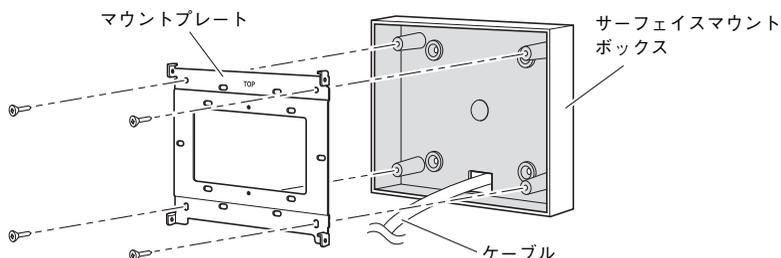
### 1-a. スwitchボックスの場合

マウントプレートの長穴にスイッチボックスのねじ穴を合わせて、2か所以上で止めてください。



### 1-b. サーフェイスマウントボックスの場合

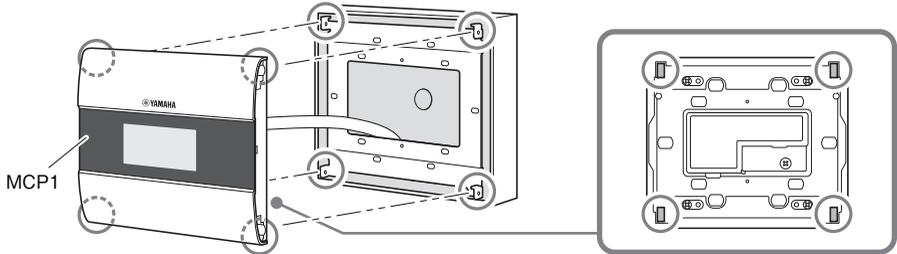
付属のワッシャー無しのネジ(M3.0×12)を使用してください。



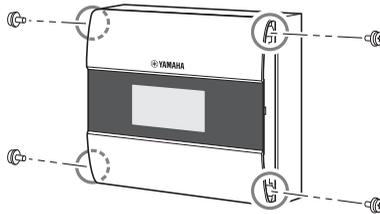
**2. MCP1 本体とケーブルを接続する。**

MCP1 背面にある NETWORK 端子と PSE から延びるケーブルをつないでください。

**3. マウントプレートの突起を MCP1 の四角い穴にはめる。**



**4. 本体を押さえながら、横4か所を付属のワッシャー付きネジで固定する。**



**5. PSEの電源を入れる。**

**NOTE**

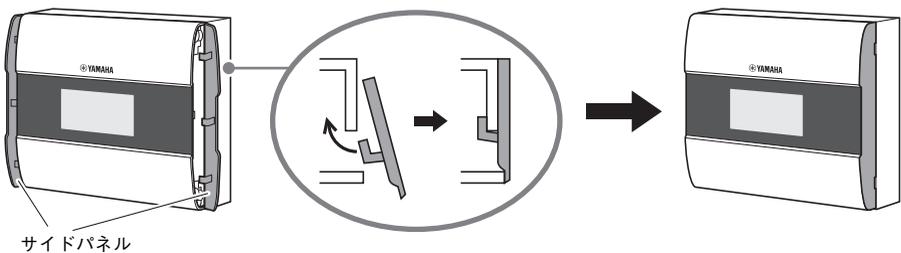
サイドパネルはまだ取り付けません。結線に不具合があった場合、サイドパネルを外す際に、サイドパネルが破損したり壁を傷つけたりするおそれがあります。

**6. MCP1 が起動することを確認する。**

起動すればPSEとMCP1間の接続は正常にできています。

**7. MCP1 の左右にサイドパネルを取り付ける。**

パチッと音がするようにはめてください。



次にUNIT IDの設定をします。

# UNIT IDの設定

MCP1のUNIT IDを設定します。

スイッチは素手で操作してください。手袋などを着用して操作すると、正しく動作しません。

## 1. ホームスイッチをロングタッチ(2秒以上)する。

ユーティリティページに遷移します。

## 2. [Settings]スイッチ(R1)をタッチする。

セッティングページに遷移します。

ProVisionaire Designと同期したあとは、PINコードの入力が必要となります。

### NOTE

PINコードがわからなくなった場合は、ProVisionaire Designで再設定してください。

## 3. [IP Setting]スイッチ(L1)をタッチする。

IPアドレスをUNIT IDで設定するか、ProVisionaire Designで設定するか(PC)を設定します。

## 4. 「IP Setting」が[UNIT ID]になっていることを確認する。

[PC]になっている場合は、左側のL1/2/3スイッチをタッチして、[UNIT ID]にしてください。

192.168.0.x以外のサブネットを使う場合は、[PC]にしてProVisionaire Designで設定してください。

## 5. リターンスイッチをタッチする。

確認画面が表示されますので、Yesを選択してください。設定をUNIT IDに確定して、MCP1が自動的に再起動します。

## 6. [Unit ID]スイッチ(L2)をタッチする。

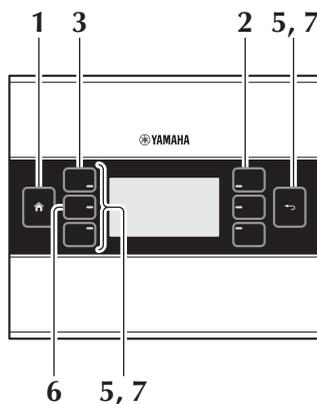
MCP1のUNIT IDを設定します。

同じネットワーク内の他の機器のUNIT IDと重複しないIDを設定してください。

L1/2/3スイッチをタッチすると数字が小さくなり、R1/2/3スイッチをタッチすると数字が大きくなります。

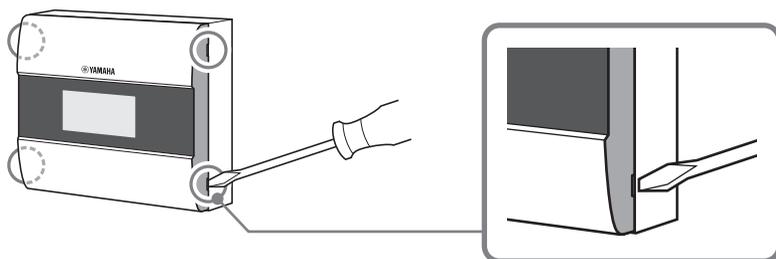
## 7. UNIT IDを設定したらリターンスイッチをタッチする。

確認画面が表示されますので、Yesを選択してください。UNIT IDを確定して、MCP1が自動的に再起動します。



# 取り外し方

MCP1 を取り外す場合、サイドパネルの切り欠きにマイナスドライバーを差し込み、ねじってください。それ以降の手順は取り付け方の逆の手順で取り外してください。



## NOTE

再度本体の取り付けを行うとき、マウントプレートのネジ穴の部分が変形してMCP1にはまらないことがあります。その場合、工具でねじ穴の部分を調整して取り付けてください。

# MCP1 の初期化

通電している状態で以下の操作をしてください。

1. ホームページやページでホームページスイッチをロングタッチ(2秒以上)する。  
ユーティリティページに遷移します。

2. [Settings] スイッチ (R1) をタッチする。

ProVisionaire Design と同期したあとは、PINコードの入力が必要となります。

## NOTE

PINコードがわからなくなった場合は、ProVisionaire Design で再設定してください。

3. [Initialize] スイッチ (L3) をタッチする。

確認画面が表示されますので、Yes を選択してください。初期化を開始して、MCP1 が自動的に再起動します。

# アラート一覧

MCP1で発生するアラート、およびその内容/対策は以下の通りです。

Faultアラートは発生すると即時に画面に表示されます。それ以外のタイプはSettingsのAlertで確認できます。単発は事象が発生したときに表示されます。継続は事象が発生したときと事象が終了したときに表示されます。

問題が解決しない場合は、巻末に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

番号	内容	対策	タイプ	単発/ 継続
<b>機器の不具合</b>				
001	機器が正常に起動していません。	PSEの電源をいったんオフにして、6秒以上間隔を空けてから電源をオンにしてください。問題が解決しない場合は、本体の初期化を実行してください。	Fault	継続
003	内蔵フラッシュ ROMへの書き込みに失敗しました。		Fault	継続
005	MACアドレスが失われました。		Fault	継続
017	内蔵メモリーに保存される設定が失われました。	ProVisionaire Designで再度同期操作を行ってください。	Fault	継続
040	IPアドレスが重複しています。	IPアドレスが重複しないように設定してください。	Error	継続
041	起動してから60秒以内にIPアドレスが確定しませんでした。	IP Settingが「PC」に設定されている場合は、ProVisionaire DesignやDHCPサーバーでIPアドレスを設定してください。	Warning	継続
042	コントロール対象の機器が、ネットワーク上に見つかりませんでした。	システムを構成するすべての機器の電源をオンにし、ネットワークに正しく接続されているか確認してください。	Error	継続
043	ネットワークに接続している機器が多すぎます。	ネットワークに接続している機器の数を減らしてください。	Error	単発
051	同一ネットワークに接続された機器に、同一のUNIT IDを持つ機器が発見されました。	UNIT IDが重複しないように設定してください。	Error	継続
060	プリセットリコールに失敗しました。	本体の初期化を実行してください。	Error	継続
064	指定されたプリセットをリコールできませんでした。	ストアされていないプリセット番号がリコールされたか、プリセットをストアしたあとに機器が追加されました。ProVisionaire Designで同期し、すべてのプリセットをチェックしてください。必要に応じて修正後、再度ストアしてください。	Warning	継続

番号	内容	対策	タイプ	単発/ 継続
070	ProVisionaire Designとの同期が完了していません。同期処理が中断した可能性があります。	ProVisionaire Designで再度同期操作を行ってください。問題が解決しない場合は、本体の初期化を実行してください。	Error	継続
071	同期操作を行ったときのUNIT IDの設定と、現在のUNIT IDの設定が一致しません。	同期操作を行ったあとはUNIT IDを変更しないでください。もしUNIT IDを変更した場合は再度同期操作を行ってください。	Error	継続

その他、アラートについては「ProVisionaire Designユーザーガイド」の「MTX5-D/MTX3のアラート一覧」をご参照ください。

# 仕様

商品仕様	
外形寸法(W×H×D)	149(W)×125(H)×18(D) mm (壁埋め込み時) 152(W)×128(H)×46(D) mm (サーフェスマウントボックス込み)
質量	0.6 kg (サーフェスマウントボックス込み) 0.5 kg (サーフェスマウントボックスなし)
電源電圧	PoEによる給電(IEEE802.3af)
消費電力	4.8 W max.
動作温度範囲	0℃～40℃
保存温度範囲	-20℃～60℃
最大同時使用台数	1システムあたり最大16台のMCP1を設置可能 (他デバイスと合わせたシステム内の合計台数の制限数あり)
同梱付属品	マウントプレート、サーフェスマウントボックス、サイドパネル×2、 ネジ(2種 各4本)、施工説明書
別売オプション	なし

端子仕様	
フォーマット	NETWORK端子：10BASE-T/100BASE-TX
ケーブル要求	NETWORK端子：CAT5e以上のEthernetケーブル(STP)

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品のリアパネルにある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

**機種名**

---

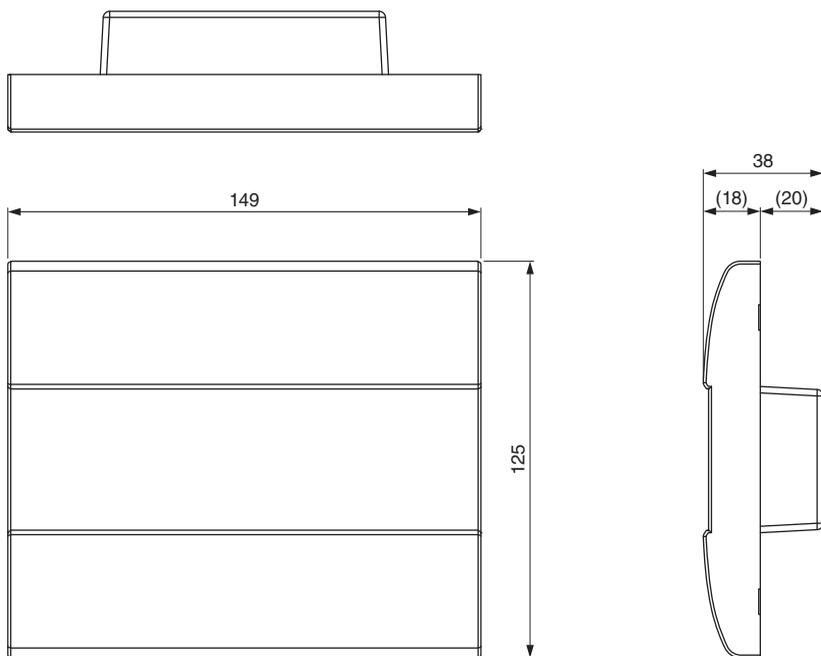
**製造番号**

---

(rear\_ja\_02)

# 寸法図

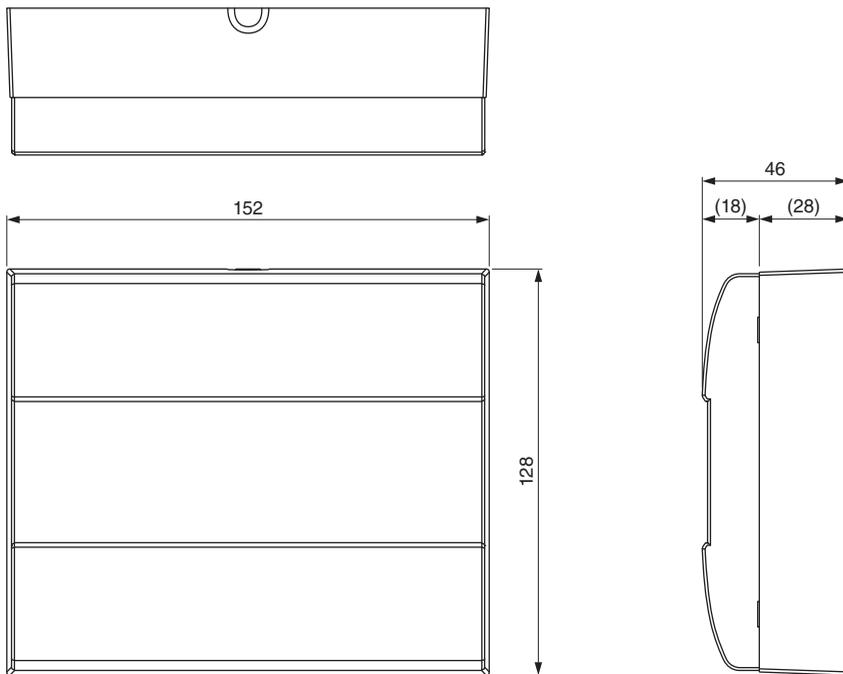
サーフェスマウントボックスなしの場合



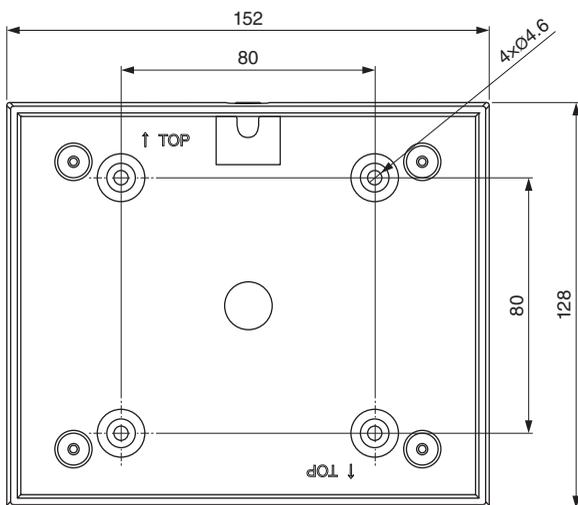
単位 : mm

# 寸法図

## サーフェスマウントボックスありの場合



## サーフェスマウントボックス



単位：mm

# アフターサービス

## お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

### ●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター



**0570-050-808**

ナビダイヤル

※固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5488-5447**

受付時間 月曜日～金曜日11:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)  
オンラインサポート <https://jp.yamaha.com/support/>

### ●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター



**0570-012-808**

ナビダイヤル

※固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

FAX **03-5762-2125** 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)  
**06-6649-9340** 西日本(北陸/近畿/四国/中国/九州/沖縄)

#### 修理品お持込み窓口

東日本サービスセンター  
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1  
JMT 京浜E棟 A-5F  
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター  
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17  
ナンブ(社本ビル)7F  
FAX 06-6649-9340

#### 受付時間

月曜日～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

### ●販売元

(株)ヤマハミュージックジャパン PA 営業部  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12  
KDX 箱崎ビル

## 保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

### ●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

### ●保証期間と期間中の修理

保証書をご覧ください。保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのかは、製品ごとに定められています。

### ●保証期間経過後の修理

ご希望により有料にて修理させていただきます。使用時間や使用環境などで劣化する下記の有寿命部品などは、消耗劣化に応じて交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

#### 有寿命部品

フェーダー、ポリウム、スイッチ、接続端子など

### ●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

### ●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

### ●損害に対する責任

本製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

\* 名称、住所、電話番号、営業時間、URL などに変更になる場合があります。

# 保証書

持込修理

品名	ウォールマウントコントローラー		
品番	MCP1		
※シリアル番号			
保証期間	本体	お買上げの日から1ヶ年間	
※お買上げ日	年 月 日		
お客様	ご住所	□ □ □ - □ □ □ □	
	お名前	様	
	お電話		

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。

お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をあわせてご提示ください。

(詳細は保証規定をご覧ください)

店名		印
※販売店所在地		
電話	( )	

株式会社ヤマハミュージックジャパン  
PA営業部

〒103-0015

東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル  
TEL. 03-5652-3850

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

## 保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無償修理を致します。
  - 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
  - ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、ヤマハ修理ご相談センター\*にお問合わせください。
  - 保証期間内でも次の場合は有料となります。
    - 本書のご提示がない場合。
    - 本書または購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
    - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
    - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
    - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
    - お客様の要望により出張修理を行う場合の出張料金。
  - この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
  - この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。
- この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ヤマハ修理ご相談センター\*にお問合わせください。
  - ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。
- \* その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

Yamaha Pro Audio global website  
<https://www.yamahaproaudio.com/>

Yamaha Downloads  
<https://download.yamaha.com/>

© 2017 Yamaha Corporation  
Published 01/2024  
IPES-D0



VGY0250